

大谷翔平さんからのグローブを手にして

おたにしょうへい ぐろーぶ て
大谷翔平さんからのグローブを手にして
始業式では、大谷さんから届けていただいたメッ
セージとグローブを紹介しました。また、今回、
伊賀市在住の小林さんから軟式ボール1ターヌも
寄贈いただいたので、あわせて紹介しました。



始業式後は、6年生から順に、グローブとボールをまわし、全員が
グローブを手に入れました。子どもたちは、大谷さんのサインの入った
グローブをはめて、とてもうれしそうでした。ただ、これまでグローブ
をはめたことのある子どもはあまりいないようで、右手と左手を逆に
はめている子どもたちもいました。大谷さんからのメッセージにもあっ
たように、子どもたちには、どんどん使って野球を楽しんでもらえればと思
っています。



ちなみに、昨日の放課後は、運動場で野球をしている子どもたちがたくさんいました。

学校評価アンケート 【人権に係る取組について】

人権に係る取組についての結
果は右の通りでした。

2学期は、各学年で、人権に係
る学習を行ってきました。低学
年では家族を見つめ直す学習、
中学年ではなかまを見つめ直す
学習、そして、高学年では様々
な人権問題について考えること
で、自分の「立ち位置」を確かな
ものにしていく学習を行ってき
ました。それぞれの学習では、

項目	目標値	昨年 度 数値	1学期の数値		2学期の数値	
			【児童】	【保護者】	【児童】	【保護者】
マニフェ スト 「自分が好き、自信がある」と言 える子ども	【80%以上】	55%	66%	-	68%	-
マニフェ スト 「学級は居やすい雰囲気がある」 と言える子ども	【80%以上】	78%	79%	-	86%	-
マニフェ スト 自分の思いを言葉や文字で伝え ることができるようになってきたと実 感できる子ども	【85%以上】	62%	74%	79%	74%	80%
マニフェ スト 友だちのことで初めて知ったことが あったと感じている子ども	【80%以上】	62%	82%	-	88%	-
がっこう 学校は楽しいと思っている子ども		89%	89%	97%	87%	97%
かぞく 家族の人とよく話をする。		90%	86%	91%	87%	90%

自分のことを見つめ直すこととともに、互いのことを知り合うことも大切にしてきました。また、
学んだことを、学習発表会や「三校交流会」の場で、発信をすることも行いました。そうし
た学習の積み上げが、「友だちのことをより知ること」につながり、また、学級が子どもたち
にとって「居心地のよい空間」につながっていることが、アンケートの結果に表れていると考
えています。

ただ、保護者の方からは、「子どもたちの使っている言葉や言葉遣いに不安を感じている」と
いう声が寄せられました。お子さんは、SNSやゲームをやりながらどんな言葉を使ったり、書
き込んだりしていますか。また、お笑いやYouTubeなどで使われている言葉や人の見方が、人
をどんな思いにするのが想像できず、「そんなつもりで言っていない」とさらっと答える子ど
もも多くなります。実際、2学期には、子どもたちから、障がいがある方に対するの気になる

発言や、外国にルーツをもつ方に対するの気になる発言があり、学校として取り組みを進めてい
ます。

人権教育というと、人権が守られている状態を望ましいと感じたり、反対に、人権が侵害さ
れている状態を感知し許さなかったりする「豊かな人権感覚を育成する」ことだけがねらいの
ように思われますが、それだけではありません。「人権に関する知的理解を深める」、簡単に言う
と、「正しいことを知る」ことも大切にしています。今後、実際に触れ合うことも含め、学年に
応じた障がいがある方や外国にルーツをもつ方に対する「正しいこと」を知る機会をもってい
く予定です。そうした両者をバランスよく育成することで、「自他の人権を守る実践力、行
動力を育てる」ことができると考えています。

【キャリアに係る取組について】

今年、「自ら考え、判断し、行動する」をテーマに学校運営を進めています。

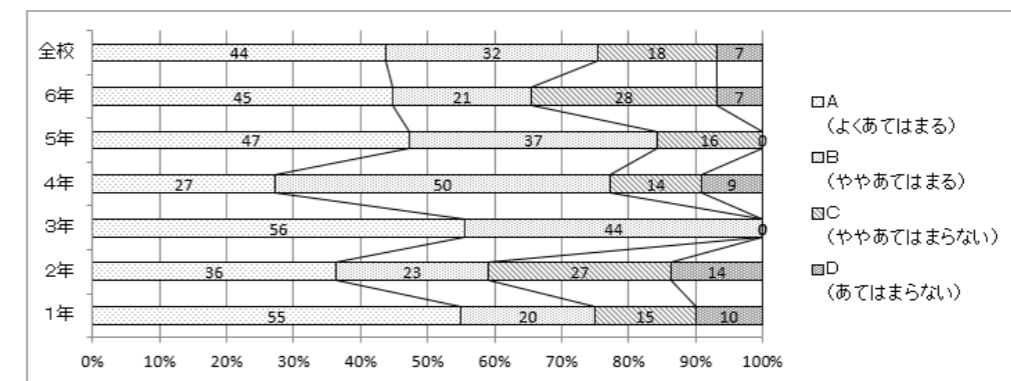
「キャリア」の取組におい
ても、「自ら考え、判断し、行
動する」ことができる子どもの
育成をめざして、取組を進めて
います。

そうした点では、そうじに関
しては、数値が下がったもの
の、学級での活動やあいさつ
については、自ら進んで行動
できたと自覚している子どもが
増えたことはうれしく思ってい
ます。また、アンケートには真
体的にあげてはいませんが、学
習発表会での発表に向けて、自
分たちで工夫して創り上げた
ことも、子どもたちにとっては
大きな自信となったと考えて
います。

こうした自信が、「自分の将来の夢」の数値にもつながっているように思います。

【登校について】

15. お子さんは、集合時刻を守って、集団で登下校ができていますか。



左のグラフは、登校
についての保護者アン
ケートの結果です。
集合時刻を守って
集団登校している子ど
もは、全体の76%しか
おらず、学年によってか
なりの差が見られます。

特に、本来、通学団のリーダーであるべき高学年の割合の低さには、今の本校の課題が表れて
いると考えています。3学期は、登下校の改善に向けた取組を進めたいと考えています。ご家
庭のご理解、ご協力をお願いします。